

COLONY

コロニーあおもり



桜の弘前城

CONTENTS

平成15年度事業計画	2~5	青森福祉工場	12
施設だより		文芸	13
青森コロニーリハビリ	6・7	新年度の誓い	14
青森コロニーセンター・ソレイユ	8・9	事務局便り・人事往来	15
作業開拓本部	10・11	行事メモ	16

VOL.
58

2003-4



況は、大変深刻で綿密な対応策が必要であります。又紙を中心とした印刷業から、デジタルを中心とした情報関連産業の一人であるとの意識を明確に持つべき時に至っております。

このような状況下、営業としては、皆さんを重ねて攻撃力、防衛力を高めながら、陣容を整え、重点目標として以下の三項目を掲げ当初目標である二十一億円の受注獲得に向け、営業にあたります。

Eジャンプの方向性の中で県内自治体に紙を中心とした印刷物から、デジタル化(XML、PDF)への提案を進めその獲得を計る。

自社内に構築するデータベースシステムを基にチラシを中心とした新規の獲得を計る。

新規対策を強化し、新規の獲得を計る。

コロナセンター コロナソレイユ

(1) 新制度の理念を踏まえ、

利用者主体の適切なサービス提供に努める。

平成十五年四月、いよいよ支援費制度がスタートする。利用者自らがサービスを選択し、事業者との契約により福祉サービスを利用するという、利用者の自己決定を尊重した福祉制度である。

利用者主体という理念から、契約時には重要事項説明やサービス利用に関する説明を行い、利用者の課題や意向を確認し、利用者の参加・同意を得ながら個別支援計画を作成し、サービスを提供するシステムとなる。

新制度の理念を踏まえ、施設サービスの自己評価や苦情解決事業とともに、利用者主体の適切なサービス提供に努める。

(2) 支援体制の充実や事務処理の効率化に取り組む。

支援費制度では、新たに個別支援計画の作成、支援費や利用者負担金の毎月請求等事務量が増えることから、利用者支援にかかる日常の利用者データ管理等の効率化、データの相互利用の迅速化を図り、支援体制に負

担が生じないよう、前年度支援費制度移行特別加算事業により関係ソフト、パソコンの導入を行った。

十分に活用し、支援体制の充実や事務処理の効率化に取り組む。

(3) 授産施設サービスの特色である就労支援の充実に努める。

授産施設としてサービスの根幹をなす各授産事業については、それぞれ業界の動向に留意し機器整備等を有効・効率的に行い、就労を希望する利用者に対し、時代に即応した作業訓練を提供し、就労意識の改革・高揚への支援を通じて社会的自立を図れるよう支援する。

(4) 社会資源の一つとして地域に開かれた施設運営に努める。

地域における社会資源の一つとして施設機能の開放に努め、幸畑地区社協と協力し老人給食・健康相談サービス事業を継続するとともに、納涼祭・コロナ祭り・地域消防団との合同消防訓練等を通じて地域住民との交流を図り、地域に開かれた施設運営に努める。

また、社会福祉援助技術現場

実習、義務教育免許志願者介護等体験実習、養護学校職場実習等の受け入れに協力する。

コロナリハビリ

利用者自己決定を尊重し、利用者本位のサービスの提供を基本とし、事業者と利用者との対等な関係に基づき、自らがサービスを選択し契約によりサービスを利用する支援費制度のスタートとなります。利用者の高齢化、重度化、重複化による能力の低下など顕著となり、生活・作業全般においての支援が必要となっているなかで、利用者の選択に十分応えることができるようサービスの質の向上に努めます。個人の尊厳を大切にし、自己決定を尊重し、いわば利用者本位のサービス提供を基本とし、その人らしい生活の実現に努めます。また、宿舎の増改築工事をし、大きく生活環境整備を図ります。一人、二人部屋で、プライバシーの保護確立に努めます。常に情報のバリアフリー化、苦情解決制度、災害防止のため、設備の保守管

平成十五年度事業計画

概要

職員、利用者の処遇の維持向上のためにも事業の達成をぜひ実現したい。

昨年も引き続きかつて経験したことのないような未曾有の大不況の下での事業運営を強いられた。九一年のバブル崩壊から十余年。デフレ、景気後退懸念等々、予断を許さない材料ばかりである。この暗いトンネル、いつかは抜け出せると信じてはいるものの、依然として光明が見えない。

このような厳しい経営環境の中にあって、当法人の基幹授産事業である印刷事業もまた新たなスタートを踏み出す。目標を掲げ果敢に挑戦する。全員一致の協力の下にである。但し、デフレ圧力が相当に強いので、これに打ち勝つコスト削減の努力が必要である。これに利する設備整備についてはこれまででもして来たし、これからも慎重にかつ大胆に実施する。一人一人がコスト意識をもち立ち向かえば、乗り切れない困難はないと信じ

本年四月から障害者福祉が措置制度から支援費制度へ、いわゆる行政措置から本人との契約制度へ変わる。契約による対等性の実現や経営努力に対する意識改革が必須である。何よりも選ばれる施設作りがハード面、ソフト面ともに強く求められてくる。このための一環として今年度の計画として、コロニーハビリの四人部屋の居室について増築による大部屋解消の実現を日本財団の助成により図る。

このことにより、より快適な居住性が確保され、利用者の処遇がなお一層向上するものと確信する。

また、支援費制度の開始に伴い法人の定款、役員体制も大きく変わる。経営責任の明確化、法人運営の意志決定の迅速化のため、理事定数を六名とし、常勤役員を理事長、常務理事の体

制とする。それと伴に地域の代表や利用者家族の代表が加わり、諮問機関としての十三名の評議員会も設置され、広く意見を集約し速やかに運営する体制となった。以上を基盤に、新年度に臨む。

法人本部

損益計算、加工高分析等、経営分析資料の更なる緻密な指示をし、経営戦略の作成実行点検（P、D、C）の一助とする。

人材を養成・育成するため、印刷技術および福祉全般を含む幅広い職員研修等を長期的なプランに基づき計画的・体系的に実施する。

債権管理を引き続き、重点課題とする。

予算執行および関連する事項の徹底を図る。

各事業体の職務期限を明確にし、的確な運営を図るとともに連絡事項の徹底を図る。

財産の管理を適切に行う。

事業損益・債権回収の結果を受けて、資金計画がある、という位置付けの充分なる共通認識

のもとに、各事業体の連絡・情報提供に努める。

起案、承認、決裁というルールを定型化し、積極的なコスト意識を全員の認識としたい。

迅速な経営情報提供のため、コンピュータ処理化を引き続き行う。

広報活動

会報「コロニーあおもり」を発行し、内外へのPR的役割をもたせる。

人事考課制度の導入

カラーマネージメントの推進を計る

安全衛生委員会の定例会催

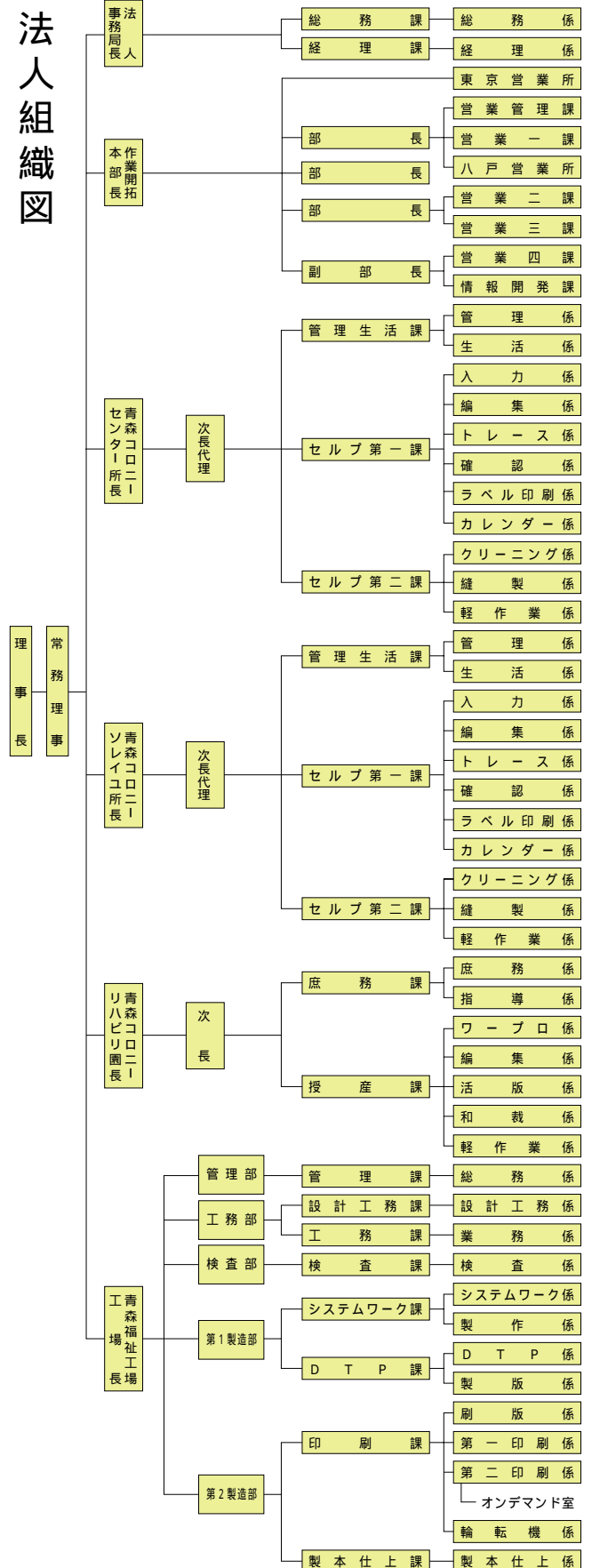
作業開拓本部

当協会印刷事業をとりまく環境は、市場の低落化の中にあつて、従来の低価格、短納期、高品質の要求は更に強まっております。内部的には紙を中心とした資材の高騰、あるいは機械設備によるコストアップ。加えて、ISOの認証、オープンカウンター化と新たなハードルも増えて来つつあります。ひとつひとつの状

資金収支予算書

勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
《収入の部》		《支出の部》	
《授産事業収入》		《授産事業支出》	
授産事業収入	2,164,200,000	授産事業支出	1,911,520,000
印刷売上	558,670,000	材料費計	604,030,000
印刷事業収入	1,541,330,000	主要材料仕入高	440,840,000
縫製事業収入	4,160,000	補助材料仕入高	154,890,000
クリーニング事業収入	36,140,000	材料仕入高	8,300,000
軽作業事業収入	2,900,000	労務費計	705,910,000
カレンダー事業収入	2,500,000	利用者工賃	47,150,000
活版事業収入	15,000,000	授産事業指導員等給与	559,530,000
その他授産事業収入	3,500,000	法定福利費その他	99,230,000
授産事業収入計	2,164,200,000	外注加工費計	268,180,000
《福祉事業収入》		外注加工費	268,180,000
支援費収入	336,480,000	経費計	333,400,000
支援収入	336,480,000	福利厚生費	26,470,000
利用料収入	16,700,000	消耗品費	47,880,000
利用料収入	16,700,000	水道光熱費	27,830,000
事業収入	3,330,000	燃料費	13,510,000
宿舍家賃収入	1,730,000	通信運搬費	40,230,000
宿舍寮費収入	1,600,000	受注活動費	10,200,000
経常経費補助金収入	47,880,000	賃借料	49,750,000
経常経費補助金収入	47,880,000	租税公課	43,010,000
寄付金収入	520,000	諸手数料	33,320,000
寄付金収入	520,000	雑費その他	41,200,000
雑収入	25,435,000	経理区分間繰入金支出	103,810,000
雑収入	25,435,000	経理区分間繰入金支出	103,810,000
借入金利息補助金収入	160,000	授産事業支出計	2,015,330,000
借入金利息補助金収入	160,000	《福祉事業支出》	
受取利息配当金収入	235,000	人件費支出	285,470,000
受取利息配当金収入	235,000	職員俸給	135,880,000
経理区分間繰入金収入	119,810,000	職員諸手当	99,600,000
経理区分間繰入金収入	119,810,000	法定福利費その他	49,990,000
福祉事業収入計	550,550,000	事務費支出	73,370,000
《施設整備等収入》		福利厚生費	8,400,000
施設整備等補助金収入	96,000,000	旅費交通費	6,240,000
施設整備補助金収入	96,000,000	水道光熱費	5,030,000
施設整備等収入計	96,000,000	修繕費	5,550,000
《財務収入》		業務委託費	12,270,000
借入金収入	254,000,000	賃借料	9,180,000
設備資金借入金収入	254,000,000	雑費その他	26,700,000
積立預金取崩収入	12,000,000	事業費支出	67,640,000
設備整備積立預金取崩収入	12,000,000	給食費	33,970,000
その他の収入	112,410,000	水道光熱費	14,680,000
長期経理区分間勘定回収収入	109,810,000	燃料費	7,220,000
償還免除益	2,600,000	雑費その他	11,770,000
財務収入計	378,410,000	借入金利息支出	25,000,000
収入合計	3,189,160,000	借入金利息支出	25,000,000
		経理区分間繰入金支出	16,000,000
		経理区分間繰入金支出	16,000,000
		福祉事業支出計	467,480,000
		《施設整備等支出》	
		固定資産取得支出	344,300,000
		建物取得支出	150,000,000
		器具及び備品取得支出	2,150,000
		機械装置取得支出	192,150,000
		施設整備等支出計	344,300,000
		施設整備等資金収支差額	248,300,000
		《財務支出》	
		借入金元金償還金支出	197,840,000
		設備資金借入金償還金支出	175,340,000
		長期運営資金借入金償還金支出	22,500,000
		その他の支出	109,810,000
		長期経理区分間勘定返済支出	109,810,000
		財務支出計	307,650,000
		予備費	2,500,000
		支出合計	3,137,260,000
		当期資金収支差額	51,900,000

法人組織図



福祉工場

理や点検、防災消防訓練を計画的に実施し防災意識を高め安全保持に努めます。

昨年度も編集システムは追加整備されたが、最近の傾向として、カラーの需要と短納期に伴いスピード化が要求され、コンピュータ内外部のメモリー、ハードディスク等を増設し、成果を上げている。今年度も昨年度に引き続き、組版機、Eサーバー等周辺機器の整備により、短納期、高品質に対処して行きたい。

製造においては、A3単色反転付印刷機を更新し、小ロット化に対応し、成果を上げている。又、短納期に対応する為、刷り紙の乾燥待ちを短縮する為、乾燥機（ファーストドライ）を設備し、製本加工を早め短納期に対処した。これら最新機器を効率よく活用し、生産性の向上に努める事が本年度の課題である。

平成十五年度の整備課題としては、十四年度に引き続きパソコンのバージョンアップによる

法人人員配置表

施設名	区分	平成14年度当初				平成15年度当初				増減
		障害者	健常者	小計	合計	障害者	健常者	小計	合計	
法人事務局	一般職員	0	4	4	4	0	4	4	4	0
作業開拓本部	一般職員	0	35	35	35	0	35	35	35	0
コロニーセンター	措置職員	2	14	16	16	2	14	16	16	0
	一般職員	0	0	0		0	0	0		
コロニーソレイユ	措置職員	2	6	8	8	2	6	8	8	0
	一般職員	0	0	0		0	0	0		
コロニーリハビリ	措置職員	4	18	22	22	4	18	22	22	0
	一般職員	0	0	0		0	0	0		
福祉工場	措置職員	0	9	9	129	0	9	9	127	2
	一般職員	0	75	75		0	73	73		
	福祉職員	45	0	45		45	0	45		
職員合計		53	161	214	214	53	159	212	212	2
パート有期雇用者		0	28	28	28	1	32	33	33	5
コロニーセンター	入所者	70	0	70	70	70	0	70	70	0
コロニーソレイユ	通所者	30	0	30	30	30	0	30	30	0
コロニーリハビリ	入所者	50	0	50	50	49	0	49	49	1
	通所者	9	0	9	9	11	0	11	11	2
入通所合計		159	0	159	159	160	0	160	160	1
総合計		212	189	401	401	214	191	405	405	4

(職適合む・嘱託医は除く)

周辺機器の増設、カラーマネージメントによる色校正紙作成におけるカラーマッピング等の整備、用紙の変形及び健康面重視の為、湿度安定装置の設備や反転紙積機の導入あるいは、二月の理事会で承認された菊半裁八色反転付印刷機の整備が五月にも実現の運びとなり、残業削減と品質向上、短納期に答える事が可能となる。

印刷産業の不況化が続く中で、受注競争の激化に伴い製品単価

の低落傾向となつて現れており、これらの技術革新の即応した生産性の向上により、製造部門である福祉工場は、短納期化と低価格化の競争に打ち勝つ体制を構築する事が出来る。それには、スローガンに示す通り、職員全員で無駄を省きミス・ロスの無い製品を納品するため、従業員の能力、技術の向上、意識改革が急務である。

以上の認識の下
製造原価の低減を目指す、日

常からコスト意識の醸成
急速に進化する印刷技術の習得における技術教育、研修の実施
短納期に対応するためのフレックスマニファクチャリングの実施
生産性を更に向上させるデジタルネットワークの構築
これらを基本として生産体制の確立を図る。

コロニーリハビリ福祉車両の整備



青森コロニーリハビリ

生活支援員 木下 おさむ

このたび日本財団から二〇〇二年度に車椅子対応車（普通車）の整備補助金により車両を整備させて頂きました。身体に重度の障害をもつ利用者の中で、高齢化、重度化により、車椅子を使用する方が増加傾向にあります。加齢と共に生活習慣病等の二次的疾患も加わり、病院への通院が多くなっております。今まで使用していた車椅子対応の車両も十年以上となっているため、かなりの老朽化と故障が目立っております。今回の福祉車両の導入により、利用者の安全と安心の確保が必須と考えられ、毎日の通院以外にも各種行事等にも積極的に参加できるなど多目的に使用可能となります。また、通院者の増加により乗車車両定員の増（旧車両七名定員から新車両十名定員）により効率的な対応が可能となり、車両についても乗る方の立場で設計された充実の思いやり装備となっており、車椅子の乗降ももちろんですが、スライドステップの装備によりスライドドアの開閉に連動して出入りすることができるなど、乗りやすくなったと当施設利用者の方からも大変喜ばれております。すでに支援費制度がスタートしておりますが、サービス等の内容を充実させて、利用しやすい施設づくりと施設運営に役立てていきたいと思っております。

最後に、日本財団を始め、ご協力を賜りました関係各位に対しまして感謝の意を表します。これからも当施設の発展のためにご理解をいただき、これからもご指導の程よろしくお願い致します。

花粉症で 困らないために

長い冬も終わりを告げ、日に日に暖かくなり気持ちも明るくなって来るようなこの頃ですが、この季節になると花粉症で苦しんでいる方も多いと思います。

花粉症は花粉によるアレルギーのことで、症状は主に目と鼻に現れます。異物や異常細胞を排除する免疫は本来、生体にとってプラスの働きをするはずなのに、時と場合によってはマイナスの働きをして病気を起こし、人を苦しめます。これがアレルギーです。

主な症状は、目のかゆみ・鼻がむずむずする・鼻水・のどのかゆみ・皮膚のかゆみ・繰り返すくしゃみ・いらいら・頭痛などがあります。

花粉症の予防には、くすりを花粉飛散量が少ないうちから服用したり、免疫療法で体質を改善させるなどの方法があります。

シーズン前から花粉情報に注意して、症状がひどくならないうちに予防と対策を心がけましょう。

生活上の注意点は

- ・外出はなるべく避けましょう
- ・マスク、眼鏡、帽子、マフラーを着用して花粉を遠ざけましょう
- ・花粉を家の中に入れないようにしましょう
- ・ファーストフードや加工食品の摂りすぎに注意し、バランスのとれた食生活に改善しましょう
- ・たばこやお酒、刺激性の強い香辛料などの摂取は控え目にしましょう
- ・皮膚を鍛え、ストレスをなくすよう心がけましょう
- アレルギーは体質の病気なので、体質改善のための治療を医師の指示に従って根気よく続けることが大切です。

（看護師 木村真紀子）

施設だより 青森コロニーリハビリ

浴室全面改修工事終わる

利用者の生活環境整備の一つとして行われていた浴室全面改修工事も四月二日に終わり、いよいよ四月七日より入浴出来ることとなった。

設計に当たっては誰もが使いやすいようにと職員、利用者の意見・要望を聞きながら進めたが、障害は様々な種別があり全てに対応することは困難である。

利用者からは脱衣場が狭いので、もっと車椅子が入れるよう



にしてほしい。シャワーの数を増やしてほしい。などの要望が多かったので、この点に重点を置き、車椅子利用者を重視した作りになっている。

明るく綺麗になったことは言うまでもない。入口の開口部の幅も広く車椅子でも出入りしやすい。手すりにおいても利用者を考慮した配置はもちろん、浴槽内にも手すりが巡らされているなど安全性に配慮されている。



脱衣場の一角には洗髪し易い洗面台も設置されている。これから夏場に向けて休日などには重宝することだろう。また、プライベートの入浴ができるように小浴槽も備えられている。浴室には床暖房が施されており冬期でも暖かく入浴出来るようになった。

暖かい風呂で仕事の疲れを癒してもらえそうな快適な入浴時間となれば幸いに思います。



(石橋)

幸畑団地区社協 老人給食サービス 協力事業から

～お弁当紹介～

二月二十二日 春を感じさせる菜の花やうどを用いた煮物と津軽地方にみられる甘納豆入りのお赤飯



三月二十二日 写真では分かりにくいのですが彩り良いちらし寿司と棒たちの煮物



これからも心にも体にもやさしい食事を提供していくよう、がんばりまーす！

(センター・リハビリ給食スタッフ

一回)

支援費制度について

青森コロナセンター・ソレイユ次長代理 和田 修一

平成十五年四月一日、障害者福祉の新しい制度『支援費制度』がスタートしました。新制度について、概要をお知らせします。

支援費制度は？

ノーマライゼーションの実現に向けて、自立と社会参加を支援する制度です。

障害のある人も障害のない人も、共に生き生きと暮らすことのできる社会を目指した『ノーマライゼーション』の考え方に基づいて、障害のある人が地域でその人らしく生活し、社会参加していくことを目指す制度です。

自己決定・自己選択を尊重する制度です。今までは施設を利用する場合、どの施設が良いかを役所が決めていました。支援費制度では利用者が施設を、自分で選ぶことができます。

支援費制度に変更されるのは次の福祉サービスです

施設サービス（施設訓練等支援）	
身体障害者	知的障害者
授産施設	授産施設
更生施設	更生施設
療護施設	通勤寮
居宅サービス（居宅生活支援）	
身体障害児者	知的障害児者
居宅介護等事業	居宅介護等事業
デイサービス事業	デイサービス事業
短期入所事業	短期入所事業
	知的障害者地域生活援助事業

身体、知的障害とも福祉工場、小規模作業所は支援費制度の対象ではありません。また、これまでの重度授産がなくなり授産施設に統一されます。上記以外のサービスは従来どおりに行われます。

支援費制度の手続きと説明 情報収集・相談

市町村窓口で情報収集・相談をします。（インターネットで社会福祉・医療事業団のWm・ネットを見ても施設や事業者の情報を確認できます）

支援費の支給申請

必要なサービスを選択し、市町村へ支援費の支給申請をします。
・施設支援の申請 施設を利用する前に住んでいた市役所、町村役場へ申請
・居宅支援の申請 現在住んでいる市役所、町村役場へ申請

支給の決定

支援費の支給を行うかどうかは利用希望者の障害の種類・程度、介護者の状況、他のサービスの利用状況、希望するサービスの内容や利用目的等を勘案して市町村が決定します。

受給者証の交付

受給者証には、支援の種類、支給期間、障害程度区分、サービス内容、利用者負担額等が記載されますが、固有の施設や事業者は指定されません。支援費の支給が決定すると、施設支援は施設受給者証、居宅支援は居宅受給者証が交付されます。決定に不満がある場合は、市町村に対して異議申し立てができます。

施設支援では支援の必要性等により障害程度区分（ABCの3区分）が決められます。障害程度区分は重度障害者に対する施設支援が適切に行われるよう支援費額に差異を設けるためのもので、ABCの区分によって基本的なサービス内容に違いがある訳ではありません。

支給期間と支給量について

支給期間は、最長で施設サービスが3年、居宅サービスが1年（グループホームは3年）です。これは見直しの時期で、再申請し障害の状況がそのサービス利用に適合したかどうか市町村が再認定することで、継続利用が可能です。市町村により支給期間が異なることがあります。居宅支援では支給量も決定されます。支給量は障害の種類及び程度その他の心身の状況、他のサービスの受給状況等を勘案して決められます。

施設・事業者へ申し込み

自分が利用したい施設や事業者を受給者証を提示して利用申し込みをします。施設は、提示された受給者証の支給決定の有無、支給期間、障害程度区分を確認します。施設は、正当な理由なく、施設支援の提供を拒んではいけないことが規定されています。

契約

契約に当たって施設・事業者は、施設の目的や運営方針、施設の概要、職員の勤務体制等重要な事項について、書面で利用者に説明します。その内容を確認した上で契約書を取り交わすこととなります。契約の際、事業者が提供する福祉サービスの内容、利用者が支払うべき利用者負担額、福祉サービスの提供開始年月日等を明確にし、その事項を記載した書面を利用者に交付しなければなりません。ことになっています。

サービスの提供

施設支援計画の作成と見直しは義務付けられています（会議の開催と利用者の同意が必要と規定されています）。また入所施設では、利用者の居宅生活の可能性について定期的に検討するよう規定されています。施設の職員及び職員であった者は、利用者や家族の秘密を漏らしてはいけません。ことになっています。

必要書類（施設支援の提供に関する諸記録）の5年間の保存が義務付けられています。

利用者負担金の支払い

利用者又は扶養義務者はサービス利用に要する費用のうち、負担能力に応じて定められた利用者負担額を事業者者に支払います。利用者負担金の取扱いは、これまでの費用徴収制度と同じ内容になっていますが、長く据え置かれたとして限度額が引き上げられました。事業者は、受領後領収証を発行します。

支援費の支給

市町村は、サービス利用に要する費用のうち利用者負担額を除いた分を支援費として事業者へ支払います（事業者の代理受領となります）。施設は、利用者に対し、代理受領した施設訓練等支援費の額を通知することが規定されています。

相互利用制度の取り扱いについて

相互利用制度は支援費制度と別の国庫補助事業として継続されることとなりました。支援費と同様の単価、障害程度区分が用いられ、利用者負担は従来どおり市町村に支払うこととなります。

多くの課題や不安を抱えたままスタートした支援費制度といわれています。今後の課題は？

これまでの措置制度と異なり、利用者自身がサービスを選べるとされていますが、現状では選択できるだけの十分なサービス基盤が整備されているとはいえません。また、市町村担当者の聞き取り調査だけでなく、個々の実態に応じたケアプランが作成され、サービス内容や支給量が決定されるケアマネジメント体制の整備が必要と思われるます。

これから個別支援計画の作成等に入りますが、支援費制度についても引き続き説明していく予定です。

施設だより 青森コロニーセンター 青森コロニーソレイユ

年男・年女 今年の抱負



左から 相馬、対馬、八木橋

今、パソコンをやっています。目や肩が痛いけれど、これからも、仕事を頑張っていけます。

青森コロニーセンター

入力係 相馬富美子

今年の抱負は、

「仕事上のまちがいをなくするようにすること。」
「健康上、食事をきちんととること。」です。

青森コロニーセンター

クリーニング係 対馬 恵子

今、私は生きている。薬を飲みながら三十七年間一生懸命生きている。今なにかに向かっているのか見当もつかない。でも生きていけば、元気に働いていけば何か良い事もあると思う。

青森コロニーセンター

ラベル印刷係 八木橋 勉

私は、ラベル係として働き十五年経とうとしています。とにかく難しい仕事ですが、機械も古くなるし、私も年をとって行くし、段々衰えてくる。そこが健常者との違いかもしれません。でも、母親に感謝をしながら生きていこう。最後になります。今年も一生懸命ラベル印刷係の一員として、努めていきます。

青森コロニーセンター入力係

佐藤 孝満

短歌



冷えきる夕べに伝導の仲間と交す握手はいつも温かい
楽しい夢膨らむ聖書の集う人は笑いに満ちる
貧生の聖書を学ぶ友々々を思い寄付箱に小銭を入れる
青森の道も雪融け春近し我の手足も軽くなりたり
孤独なる我は聖書を仲間等と語り合う時喜び満る



私と
情報技術
(IT)

青森コロニーセンター内校係

佐藤 鉄男

一九九五年夏、私はとある電気量販店にいた。目に止まったのは、十六万余りのパソコンだった。どう狂ったのか何も考えずそれを購入した。

ところがである。本を読んでも難解すぎてさっぱり分からない。何しろ一番難しいと言われているWindowsである。

その年の初冬、Windowsにバージョンアップ。エラー起こること度々。ついに機械を買い換えた。

私にはOの入れ替える癖がある。別に好きでしているわけでない。場合によっては、その方が手取り早いのである。長い間色んな事を失敗していると機械の基礎が分かってくるから面白い。ここで失敗談を一つ。ハードディスクをフォーマットするつもりが起動ディスクをフォーマット。おそらく世界中でも稀有だろう。

パソコンで同人誌も作ったりホームページも作った。

もちろんインターネットやっています。ADSLで、買い物したりクイズ応募等々。私のホームページにはコロニーセンター華道部を紹介しています。是非みて。アドレスは次のとおり。

<http://www7.plala.or.jp/meimui/>

とらりいまんよもやまばなし

★ 営業マンの血液型による性格判断 ★

あなたは、どのタイプですか？あなたも自分の性格をよく知り、欠点には注意し、長所は意識して伸ばすようにしましょう。

血液型	性格	相性	向く職業	該当する営業マン
A型人間	だれとでも自分を合わせていける順応型。 もの事をキチンと何でもやっていくマジメ型。 まわりの人の気持ちをよく考えるので、みんなに好かれる。 人の前で話したり、目立つ事が大きらいである。	O型	研究・調査 手先の仕事 事務職 (命令される事、する事をきらう)	野村 浩則 野坂 雅博 石黒 巖哉 今 光明 布施 卓実 井上 勇一 斉藤 明久 渡辺 幸太郎 永田 秀之 福田 喜亮 赤坂 尚人 山口 保 山中 康雄 吉沢 幸仁
B型人間	個性的でねばり強く、活発である。 ふつうの人が思いつかないような事を考えたり、行動力がある。 負ける事が大きらいで、いつも動きまわる。 ザックパランで、新しいものにすぐとびつくタイプ。 すぐ腹をたてたり、カッとなるのが欠点。	AB型 O型	自由業 政治家 企業家 発明家 (行動型)	清野 治樹 藤本 寛 鹿内 英二 三上 尚美 木立 貴子 木村 奈緒美 浅利 佳子 稲葉 淳一 木下 かなめ 堀内 珠枝
O型人間	たいへん気持ちの大きな人で、ユーモアがある。 人情家で世話ずき、つまり親分・姉ご肌タイプである。 さびしがりで、にぎやかな事を好む。	A型 B型	商売・医者 弁護士 (サービス、奉仕的)	松浦 信子 武部 剛和 鈴木 英明 工藤 浩二 佐々木 敏憲 斉藤 光男 柴田 康信 伊藤 耕平 磯野 武
AB型人間	細かな事にいつも頭を使い、アイデアもたっぷり。 平凡な事が大きらいである。 イヤな事があるといつまでも、それを忘れられず、眠れなくなる事がある。	AB型 B型	商社マン 教育 野外の仕事 海の仕事	横内 正秋 藤田 耕 千島 昇 山屋 孝郎 藤井 正幸 船水 直久

営業の皆さんに聞くのに非常に苦労しました。なんせ個性の固まりですから…。
そんな貴重な資料です。大切に読んで下さい。
でも、当るか当らぬかはその人の気持ちの持ち様。
まあ、前向きに考えて下さい。



生き残りのための第一歩

作業開拓本部 営業部長 千島 昇

底の見えない大不況

明らかに原価割れと思われるような価格で取り引きが行われているケースが枚挙にいとまがない。受入れ難い価格を提示され、吞まざるを得ない状況に追い込まれるケースが多々ある。このような状況の中で自沈する業者の何と多いことか。我々のユーザーの多くは印刷経費圧縮の方針を示し、総量激減が一般化し、個々の受注量は、今までに経験したことのない落ち込みである。加えて、用紙代の値上がりである。今迄市場からの要請により、値下げの一途であった用紙代がここに来て、再生産に繋がらない価格だとして一気に値上がりが始まった。我々印刷業界は、三重苦を背負った状態で、底の見えない大不況に落ち込んでしまった。

総力戦

何をなすべきか。可能な限り市場の要請に応えるしかない。市場のニーズに反した形で企業の存立などあるはずがない。組織の再構築、極限までの合理化によるコストダウン、減量経営、アウトソーシング、コラボレーション。今、これらに対し

青森県コロナ協会のハード面、ソフト面の「総力」を以って臨まなければならない。この事を押し進める事は、並み大抵ではない。大いなる覚悟が必要である。限られた市場の中で、同業者それぞれが会社の存亡を賭けた戦いを仕掛けており、まさに食うか食われるか「弱肉強食」の世界である。

「いままで通り」からの脱却

新しいルールが、ともすれば「今まで無かったのになぜ」、「作業量が増えるので困る」等々の反応でなかなか受入れられ難いのも事実である。しかし、ここに来て思ふべきは、『勝ち残る為には、出来る事は何でもやる』という決意であり、『危機感を持つ』事である。もし、我々の中にまだ「何とかなるさ」との思いがあるとしたら、協会全体が悲惨な状態になるであろう。この危機状態を「何とかしなければ」という気概が大切である。この状態を脱する為に、はっきりしていることは、「いままで通り」では生き残れないということである。協会全体が心をひとつにして、この危機を乗り越える為の具体的な行動をするなら、必ず光明はみえてくると確信する。

文芸

檸檬(レモン)

青森コロニセンター・セルブ一課確認係副長

長谷川 純信

1

出窓から差し込んでいる斜陽の光の中で、僕は一通の書面に顔を埋めていた。

『 様のシナリオ拝見いたしました。正直に申しまして、ラストを含めた全てが都合主義的過ぎると申しますが、当団体では、残念ながら』

「万事休すつてことか？」

溜息までも赤く染まった。

「宿命的な終幕への赤と黒……」

僕は漆黒の本棚の中に忍ばせたウォッカの瓶に手を伸ばした。すると、何の前兆もなく一冊の文庫本が上の方から落ちて来た。まもなく、それは、赤い光の中に

《檸檬》のタイトルを浮かび上がらせた。半ばセピア色に変色したカバーの梶井基次郎の『檸檬』……。

僕は無造作に拾うとペラペラめくった。やがて、本の中からバッタのように一枚の名刺が飛び出て来た。見ると、粗雑な書体で《檸檬商会》と印刷されている。いったい、いつ、だれが、挟んだのだろう。つまり、僕の記憶にはその名刺のことは全くなかった……。

2

駅の西口から簡易旅館通りの場末の袋小路。名刺裏の見取図の通りに《檸檬商会》はその場所にあった。昭和三十年代の情景が時の流れから取り残されて其処に貼り付いている。そんな雰囲気の間だった。

ブリキの看板を見上げながらガラス張りの格子戸を引くと、雑貨の陳列棚をすり抜けて会計場に辿り着いた。誰もいないようだった。僕は、かまわず、奥の仄かな闇に向かって声を張り上げた。

「ごめんくださいー！」

何の根拠も目的もないまま言葉が喉を突いて出た。

「えっ、だれ？信じられない……」

まもなく、怪訝そうな少女の声が反応すると、奥の闇から茶髪のポニーテールが現れた。

「あつ、いらっしやい。すみません、お客さんって、チヨームずらしいから……」

「あのう、檸檬(レモン)下さい……」

「それって、マジ？」

少女は、ガラス細工のような微笑で、僕に確認を迫った。この得体の知れない雑貨屋でレモンを買うことが、いったい、どんな意味を持つのか、謎はすっかりと迷宮的だった。

3

僕は一個の檸檬を握り締めている。しかも、運動する夜の観覧車の中で……。あの少女は、どこかシャーマンのように向かいの座席にいる。

「あなたの手の中にあるその檸檬は、その人の記憶をリセットする特殊な爆弾なの。つまり、現世において転生できる絶対なアイテムなの……」

少女は、矢庭に、白蛇の化石のような手首に刻まれた無数の傷跡を僕の眼前に差し出した。それは、明らかになりストカットの痕跡だった。

「わたし、この傷跡のこと。全然、憶えていない。でも、確かに、わたしというわたしは存在したの。つまり、フォルダは有るの。けれど、ファイルがグチャグチャなの。だから、クリアするの。檸檬が爆発して、そんな状態が、もつすぐに、あなたにも訪れるの……」

「あの、何だか、臆気に、分るような感じがするから、君に頼みがあるんだあ。」

「厄介は、いやだから。」

「檸檬が爆発した後、僕をラーメン屋と映画館に連れて行って欲しいんだあ。」

「うん、ぜんぜん、だいじょうぶよ。」

やがて、一つの観覧車が、晩春の夜空に黄色い閃光を放った……。

(完)

CTPの作業に携わって



工藤係長



浅利さん

CTPが導入されて、はや一年と十ヶ月になりました。毎日の作業に追われてあつという間に過ぎたように思います。

ところで、皆さんCTPの作業内容をご存じでしょうか？簡単に説明すると、DTPやシステムワークなどで作製したデジタルデータを、各印刷機に合った面付紙のサイズに合うようにテンプレートを作り、出力用のデータに変換して（リップする）プレートに直接焼き付け、その版を出力して印刷にわたす仕事です。

印刷の仕事も手作業（アナログ）からデジタル作業へ移り変わり、今までフィルム出力中心だったところがCTPへ移ってきたため、セッターからのフィルム出力の待ち時間がない分、全体の作業スピードもかなり速くなったと思います。でも、その代わりと言っては何ですが、CTPの仕事が増えて段々といそがしくなってきました。

今年には特にいそがしく、一月、三月には版の出力の量が昨年の一・五倍ぐらいました。（浅利君ご苦労様。前工程、後工程の方々もご苦労様です。）

五月には八色の印刷機と一緒に二台目（CTP）が導入される予定ですが、もし二台フル活動するようになると今以上に仕事が忙しくなると思われます。

新しいシステムの導入で楽になった反面苦労している点もありますが、前工程、後工程に迷惑、負担をかけないためにも頑張りますので、今後とも皆様のご協力お願いします。

事務局だよ

平成十四年度共同募金配分金事業完了のお知らせ

このたびは社会福祉法人青森県共同募金会より平成十四年度事業の助成金一三十七万円の交付を受け、総事業費一、三四四、六五、円で次の事業を完了することができました。

センター

「宿舍洗面所の水道切替工事」

配分金	五二、
自己負担	四七七、五
総事業費	九九七、五

ソレイユ

「厨房ガスレンジの買替え」

配分金	三三、
自己負担	一八七、六五
総事業費	五二七、六五

福祉工場

「すべり台・ブランコの設置 自動ドアの交換」

配分金	五二、
自己負担	三九、五
総事業費	八二九、五

評議員決定のお知らせ

平成十五年度より理事会制度に加え評議員会制度が設けられます。三月理事会の承認を受け以下の陣容に決まりましたので報告します。

- 川口 宏二 佐藤病院 副院長(会長)
- 我満 悦男 青森コロニーリハビリ 園長(理事長)
- 横内 正秋 作業開拓本部 本部長(常務理事)
- 朝井 達雄 元、青森県生活福祉部参事(理事)
- 長谷川光一 協同組合タツケン 専務理事(理事)
- 野村 満 元、青森市企画財政部 理事(理事)
- 吉野 良和 福法東京コロニー 東京都太田福祉工場 所長
- 見滝 昭雄 元、青森県立むつ看護学校 校長
- 平田 進 NTT東日本青森支店 勤務
- 原 三郎 株式会社はら保険事務所 代表取締役社長
- 磯野 武範 青森コロニーセンター・ソレイユ 所長
- 川越 俊次 青森福祉工場 工場長
- 杉田 清道 法人事務局 事務局長
- 西谷 律男 西谷税理事務所 所長
- 浦添 英司 幸畑団地地区社協 会長

人事往来

異動・昇格

印は昇格

H14年8月1日、H15年4月1日

H15年4月1日付

(作業開拓本部)

- 本部長 横内 正秋
- 本部長付東京営業所勤務 山口 保
- 営業第一課係長 木下かなめ
- 営業第二課副長 鹿内 英二
- 営業第一課 福田 喜亮
- 営業第二課 石黒 徹哉
- (青森コロニーセンター) 磯野 武範
- 所長・ソレイユ所長兼務 (青森コロニーソレイユ) 中川 寛
- セルブ第二課クリーニング係長 寺井 朗
- (青森コロニーリハビリ) 授産課編集係 川越 俊次
- (青森福祉工場) 福祉工場長・営業業務兼務 伊藤 慎一
- 管理副部長・法人事務局総務課長兼務 赤坂 康仁
- 第一製造部DTP課課長 沖野 文彦
- 工務部設計工務課設計工務係長 柴田 圭
- 第一製造部製本仕上課製本仕上係長 赤石 真
- 第一製造部DTP課DTP係副長 福士 浩二
- 第一製造部DTP課DTP係 蝦名 卓也
- 第一製造部DTP課DTP係 植村 英才

採用

印はパートより任用替

(作業開拓本部)
H15年4月1日
(青森福祉工場)
H15年4月1日

- 野村 浩則
- 植村 英才
- 齋藤 和哉
- 大坂 真弘
- 奥崎 真吾

退職者

(定年退職)
H15年3月31日
(一般退職)
H14年9月30日

H15年2月28日
H14年9月30日
H15年2月28日

3月31日

入所・退所者

(青森コロニーセンター)

入所

H14年11月1日
H15年2月1日
4月1日

退所
H14年9月30日
H15年2月26日
3月31日

(逝去)
H15年1月25日

謹んでご冥福をお祈りいたします。
(青森コロニーソレイユ)

通所

H14年10月1日
H15年1月1日
3月15日

退所
H14年9月30日
12月31日

(逝去)
H15年2月2日

謹んでご冥福をお祈りいたします。
(青森コロニーリハビリ)

入所

H14年12月1日
H15年1月20日
3月1日
4月1日

退所
H15年2月24日
(逝去)

H14年10月6日
10月12日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

- 成田 利子
- 松橋 一馬
- 清野 直人
- 吉崎 人史
- 阿部 幸代
- 村上 正志
- 昆 充郎
- 中野 忍
- 上原世利子
- 大柳 登
- 阿部 好孝
- 村元 美紀
- 桂田 清治
- 森山加奈子
- 神 雅子
- 田中 邦明
- 乙部 朝子
- 乙部 幸一
- 桜田 慶一
- 佐藤 孝夫
- 太田 秀美
- 丸岡 鑑孝
- 近風 憲一
- 田村 昭逸
- 原子 兼光
- 野月 裕



新年度の誓い

平成十五年度

青森県コロニー協会経営方針発表会

平成十五年四月五日(土)

午前十時 法人研修室

年度はじめの恒例であります経営方針発表会。今年も昨年同様、法人研修室で行われました。近年は外での催しもなくなり寂しい限りです。これも不況のせいなのでしょう。それでも本年は規模を拡大し、役付き職員全員の参加となり、会場は九十五の席で埋まった状況です。

に置きそれを実施しなければ当初の処遇は得られないとの説明でした。

理事長の「あいさつ」を「決意表明」に変えることで自らの強い意志表示の現れとする決意に始まりました。大きな柱として、福祉事業では、本年四月から障害者福祉が措置制度から支援費制度に変わります。これまでの行政措置から利用者本人との契約に変わります。より選ばれる施設作りが必要になります。関連してリハビリの大部屋解消対策として増築が予定されています。

次に決意表明を行ったわけですが、私的に凝つてると思つた表明がありませんので挙げてみます。

印刷事業では八色機の導入による品質の向上、残業削減、短納期と現在の印刷事情に比べ設備計画があります。

『限られた時間を有効活用できるように最大限努力します』
設計工務課 係長 佐藤 祐子

一方、職員の処遇面は、極力計画通り行いたい。そのためには印刷の売上が目標に達することも重要ですが、職員一人ひとりが休憩時間の消灯からはじまり、経費節減、コスト削減を念頭

『私はプロです』といえる職員になります』
システムワーク課 部長代理 外山 たつえ

「勇往邁進」
東京営業所 所長 吉澤 幸仁

最後に定年退職者および永年勤続者の発表と表彰が行われ、定年退職者の成田利子さんには長い間こころうさまでしたとあたたかい拍手が贈られました。

「日々(D)挑戦(T)と情熱(P) (passion)を」
DTP課 課長 赤坂 康仁

司会者の不馴れな進行でお聞き苦しいところもあったこと、この紙面を借りてお詫びします。

（石塚）

行事メモ

◆8月

- 1日 浅虫花火大会観覧招待
- 2日 ねぶた観覧招待
- 22日 福祉工場設備整備事業 日本財団実地監査
- 24日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 25日 第十回障害者スポーツ大会「陸上・卓球」
- 27日 ゼンコロ新規事業委員会（東京）
- 31日 センター・ソレイユ・リハビリ日帰りレク
（小岩井牧場）

◆9月

- 1日 第二十回身障者登山八甲田赤倉岳
- 7日 第十二回青森コロニ祭り
- 12日 総合防火避難訓練（福祉工場）
- 17～20日 内部監査
- 26日 ゼンコロ社会福祉研修会（東京）（杉田）
- 27日 ゼンコロ新規事業委員会（東京）（杉田）
- 28日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス

◆10月

- 8日 日本財団助成金交付申請（東京）（理事長・杉田）
- 20日 「福岡コロニ創立五十周年記念式典・祝賀会」
（熊本）（理事長・常務）
- 24日 秋の健康診断（リハビリ・事務局・営業）

◆11月

- 25日 全国障害者技能競技大会アビリンピック
（熊本）（富樫）
- 25日 アビリンピック・トップセミナー（熊本）（専務）
- 26日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 26～27日 APWD2002総会・国際セミナー
（滋賀）（杉田）
- 1日 ゼンコロ創立四十周年記念式典（東京）（理事長他九名）
- 2日 ゼンコロ拡大理事会（東京）
- 5～8日 県指導監査
- 11～12日 県セルブ協職員研修会（八戸）（杉田他五名）
- 14日 センター・ソレイユ消防訓練
- 22日 リハビリ自治会忘年会（食堂）
- 23日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 25日 秋の健康診断（福祉工場）

◆12月

- 5日 センター・ソレイユ自治会忘年会（食堂）
- 6日 理事会（法人研修室）
- 20～21日 カラーマネジメント講習員（法人研修室等）
- 21日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 28日 仕事納め

◆1月

- 6日 仕事始め
- 6日 新年の集い（理事長年頭の挨拶）（法人研修室）
- 22日 不在者投票（センター・リハビリ）
- 25日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
（副長以上）

◆2月

- 1日 ジャグラー青森県支部総会（百代）（理事長）
- 7日 理事会（法人研修室）
- 12日 リハビリ浴室等改修工事業者説明会
（法人研修室）

◆3月

- 6日 社会保険委員研修会（アップルパレス）
- 6日 日本セルブセンター第六回総会（東京）
- 19日 リハビリ浴室等改修工事入札実施（法人研修室）
- 22日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 26日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
（伊藤・小笠原）
- 26日 理事会（法人研修室）

◎ホームページを開設しています。

一度ご覧になって下さい。

<http://www.aomoricolony.com>

編集後記

「冬キタリナバ春トラカラジ」青森にもようやく春が訪れました。長かった冬。今年の冬はいつになく長く感じられ、何んと春の待ち遠しかったことか。

春と言えば「四季の歌」 “春を愛する人は心清き人 すみれの花のようなぼくの友だち” 清い人でありたい。そんな思いで口ずさむこの歌は私の愛唱歌。もう遠い昔のことです。